

大館市教育委員会会議録

日 時 令和6年10月30日(水)
午後1時30分
場 所 大館市役所本庁舎
第4委員会室

大館市教育委員会

大館市教育委員会会議録

1 開会の日時 及び場所	日 時	令和6年10月30日(水)	午後1時30分
	場 所	大館市役所本庁舎	第4委員会室
2 出席委員の氏名			
教育長職務代理者	山 田 和 人	委 員	工 藤 啓 子
委 員	根 田 穂美子	委 員	小笠原 正 卓
3 欠席委員の氏名			
4 委員以外の出席者職氏名 (なし)			
5 出席した職員の職氏名			
教 育 長	高 橋 善 之	学校教育課長補佐	柴 田 賢
教 育 次 長	成 田 浩 司	学校教育課長補佐	工 藤 貴 胤
教 育 監	長 岐 公 二	生涯学習課長補佐	羽 沢 秀 則
教育総務課長	北 林 香 子	中央公民館長	外 館 志
学校教育課長	鈴 木 明	歴史文化課長補佐	篠 村 朋 子
教育研究所長	米 澤 貴 子	教育総務課総務係長	柳 谷 真 希
生涯学習課長	畠 山 慶 子		
歴史文化課長	関 智 仁		
教育総務課長補佐	宮 崎 史 人		
6 会議録署名委員 教育長・根田委員			
7 会 議 書 記 教育総務課 総務係長 柳谷 真希			
8 教育長報告			
(1)	嘉手納町学習体験交流事業について		
(2)	令和6年度ラジオ体操会終了大会の開催について		
(3)	鳥潟会館庭園での「お茶会」について		
9 議 事			
協議第26号	令和6年度12月補正歳出予算要求の概要について		
10 その他			
次回 11月22日(金) 長木公民館 第1, 2研修室			

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年10月30日

担当課（学校教育課）

報告事項	報告内容													
(1) 嘉手納町学習体験交流事業について	1 学習体験交流 (1) 期 日 10月8日(火)～10月10日(木) (2) 交流実施校 釈迦内小学校、北陽中学校 (3) 交流者(来校者)数													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>釈迦内小</th> <th>北陽中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童生徒</td> <td>5年5人(嘉手納小2 屋良小3) 6年5人(嘉手納小3 屋良小2)</td> <td>1年5人(嘉手納中5) 2年5人(嘉手納中5)</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>5人(嘉手納小2 屋良小3)</td> <td>3人(嘉手納中3)</td> </tr> <tr> <td>教育委員会</td> <td>3人</td> <td>合計31名</td> </tr> </tbody> </table>			釈迦内小	北陽中	児童生徒	5年5人(嘉手納小2 屋良小3) 6年5人(嘉手納小3 屋良小2)	1年5人(嘉手納中5) 2年5人(嘉手納中5)	教職員	5人(嘉手納小2 屋良小3)	3人(嘉手納中3)	教育委員会	3人	合計31名
	釈迦内小	北陽中												
児童生徒	5年5人(嘉手納小2 屋良小3) 6年5人(嘉手納小3 屋良小2)	1年5人(嘉手納中5) 2年5人(嘉手納中5)												
教職員	5人(嘉手納小2 屋良小3)	3人(嘉手納中3)												
教育委員会	3人	合計31名												
	(4) 活動内容													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>釈迦内小</th> <th>北陽中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10/8</td> <td> 歓迎集会・稲刈り  </td> <td> 歓迎集会・通常授業  </td> </tr> <tr> <td>10/9</td> <td> 通常授業  </td> <td> なべっこ(きりたんぼ)  </td> </tr> </tbody> </table>		期日	釈迦内小	北陽中	10/8	歓迎集会・稲刈り 	歓迎集会・通常授業 	10/9	通常授業 	なべっこ(きりたんぼ) 			
期日	釈迦内小	北陽中												
10/8	歓迎集会・稲刈り 	歓迎集会・通常授業 												
10/9	通常授業 	なべっこ(きりたんぼ) 												
	(5) 感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルに戻った嘉手納町児童生徒から、「授業の楽しさ」「発表発言できることの充実感」「議論することの喜び」などの感想が絶え間なく聞こえていた(嘉手納町指導主事談) ・嘉手納町教員からは、特に、交流校での「授業における子どもの反応力の高さ」「単元全体を見通した授業づくりの巧みさ」について多くの声が寄せられた。 													
	2 招聘 ^{しょうへい} について (1) 日程 9月10日(火)～9月14日(土)(移動日含む) (2) 学校 東中 校長 伊多波 卓美(市校長会長) 釈迦内小 教諭 佐藤 由美 北陽中 教諭 湊 裕貴													

教育長が教育委員会会議に報告する事項

令和6年10月30日

担当課（中央公民館）

報告事項	報告内容
<p>(2)令和6年度ラジオ体操会終了大会の開催について</p>	<p>10月5日(土)、城南小学校グラウンドにおいて、令和6年度ラジオ体操会終了大会を開催しました。</p> <p>半年間の活動の締めくくりとなる秋の終了大会は、市民の健康増進と参加者同士の交流を目的に、春の開始大会とあわせて毎年行っています。</p> <p>早朝から晴れ渡る青空の下、集まった約100名の参加者たちは、「大館市ラジオ体操の会」の会員による模範演技に合わせて伸び伸びと体を動かし、心地よい汗を流していました。</p> <p>また、開会行事では永年継続参加者表彰も行われ、今年度の受賞者15名(30年2名、20年4名、10年9名)に、高橋教育長から賞状が授与されました。</p> <p>【参加団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大館市ラジオ体操の会 ・桂城公園ラジオ体操会 ・鉄砲場町内会 ・有浦3丁目町内会 ・さくらクラブ ・柳町公園ハツラツ会 ・常盤木町町内会 ・萩野台町内会 <p style="text-align: right;">計8団体 約100名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="564 1361 1075 1702" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1086 1632 1378 1668" data-label="Caption"> <p>永年勤続参加者を表彰</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="603 1989 903 2024" data-label="Caption"> <p>心地良い汗を流しました</p> </div> <div data-bbox="919 1724 1412 2049" data-label="Image"> </div> </div>

教育長が教育委員会に報告する事項

令和6年10月30日

担当課（歴史文化課）

報告事項	報告内容
<p>(3) 鳥潟会館庭園での「お茶会」について</p>	<p>爽やかな秋晴れの10月6日、鳥潟会館庭園において国名勝指定を記念した「お茶会」を開催しました。</p> <p>庭園内に設けられた三か所のお茶席では、県内外から訪れた多くの人でにぎわい、抹茶とお菓子を味わいながら、琴の音色とともに、心地よいひとときを過ごしていました。</p> <p>庭園でのお茶会は、昭和14（1939）年に鳥潟隆三博士が庭園の完成を記念して催したとの記録が残されています。訪れた人々は、当時の雰囲気を感じながら茶会を楽しんでいました。</p> <p>呈茶は、裏千家秋田北支部の会員と北陽中学校学芸部の協力により提供され、また、琴の演奏も披露されました。</p> <p>気温が一気に低くなり、秋の気配を色濃く感じた数日前に比べ、秋晴れの中、澄んだ空気に包まれた庭園でのお茶会を楽しんでいた来場者からは、「素敵なお茶会でした」「ゆっくりした時間を過ごせました」などの声をいただきました。</p> <p>今後も様々なイベントを企画し、国の宝である鳥潟会館庭園のすばらしさを、国内外に向けて発信してまいります。</p> <p>○開催日 10月6日(日) 10時30分～14時 来場者数 245人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(五稜池前でのお茶席)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(主人室で琴を演奏)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>(草庵茶室)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>〔北陽中生学芸部にも協力いただきました〕</p> </div> </div>

議 事 の 経 過	
	開会 午後1時30分
教育長	<p>ただ今より教育委員会会議を始めます。 会議録署名委員については、私と根田委員にお願いします。</p> <p>会議録についていかがだったでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>それでは、承認とさせていただきます。 では、4の教育長の報告事項をお願いします。</p>
各課長	<p>(「(1) 嘉手納町学習体験交流事業について」 「(2) 令和6年度ラジオ体操会終了大会の開催について」 「(3) 鳥潟会館庭園での「お茶会」について」を資料により報告)</p>
教育長	<p>ご意見、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>先ほど嘉手納町のご説明の中で、子どもたちがコミュニケーションをとる機会があって、他地域の子とお互いに勉強できる機会があったこと、その中でコミュニケーションが図られたというのは、本当に子どもたちの学びにとっていいことだなと思っています。</p> <p>というのも、今年6月に有浦小学校で少しお話をさせていただいたときに、民主主義とはあえて子どもたちの前では申し上げなかったのですが、これからそのような仕組みをどうやって維持していくのかといったときに、コミュニケーションが一番大事だよと、そのために何が必要なのかという問いを子どもたちに発したことがあります。</p> <p>子どもたちは、相手の話をよく聞くこと、相手のことを考えること、そして勉強することだと、自分で考えてそんな言葉を発してくれました。</p> <p>子どもたちにとっては、良い教育の一環としてこれからもやり続けてほしいですし、このような仕組みを私たちが大事にするためにも、こういう機会をどんどん増やしてほしいなと思います。本当にありがとうございました。</p>
委員	<p>私も、例年このように嘉手納町の皆さん方と交流することが本当に両者にとって経験を深めて、社会性を養い、豊かな人間性を育む、また、委員が話されたように、新しい方々と話すことをきっかけにして良いコミュニケーション能力も高め合えるのではないかと、今後もずっと続けてほしいなと願うところです。</p> <p>あと、歴史文化課にお伺いしますが、来場者が245人ということで、</p>

<p>歴史文化課長</p>	<p>市外の方はこの中にどのくらい含まれているものですか。市外の方にどれくらいこの庭園が知れわたっているものなのかということに、ちょっと関心を持ちました。</p> <p>来場者の方に記帳していただいたりはしていませんので、内訳は集計しておりません。</p> <p>受付等や当日お話をしている中で、例えば小坂町から来ましたとか、東京から来ましたという程度の確認で、詳細な内訳はわかっておりません。</p>
<p>委員</p>	<p>学習体験交流のことで、まずお礼です。</p> <p>嘉手納町の児童生徒から、発表・発言できることの充実感や議論することの喜び、それから我々が当たり前と感じている教室の雰囲気というのが、彼らにとっては特別だったのだなというのをこの感想からも感じ取ることができて、本当に保護者としても誇らしいなと感じました。</p> <p>資料が別になってしまうのですが、総合教育会議の大館教育の発信の欄を見て、同じ時期に東中学校の先生がうるま市に行っていたのですが、この嘉手納町との関連から来ているものなのか別なのかをお伺いいたします。</p>
<p>教育監</p>	<p>嘉手納町との関連はございません。ただ、厳密に言うと、少し関連はあるのです。</p> <p>なぜかと言うと、かつて嘉手納町の指導主事で大館市に来ていた教員がうるま市の校長になっていて、その校長の立場でぜひ大館市の教員を招へいしたいということでした。うるま市がやっているのではなく、うるま市の1校の校長が、自分でいろいろな懸賞やあちこちに論文を書いて資金を貯めて、教員を1人呼ぶ予算をつくり呼んだという流れであります。</p>
<p>委員</p>	<p>非常にありがたい流れで、先生も大変だと思いますが、こういうことの1つ1つが積み重なって、ありがたいなと感じました。</p>
<p>教育長</p>	<p>少し補足すると、嘉手納町がある沖縄県中南部の教育事務所の中で人事異動があるのですが、嘉手納に行くと大館交流に行けるということで、希望者が増えているという話も伺っております。</p>
<p>委員</p>	<p>今のお話にも関連するかもしれませんが、交流事業が10数年近く経って成果が出てきているというのは大変いいことだと思っています。</p> <p>3サイクル目の2年目ということで、来年もいらっしゃるということですよ。</p> <p>その後なのですが、主に釈迦内小学校、北陽中学校を中心に交流していたと思うのですが、本当に意義あることだとすれば、他の学校にも広め</p>

教育監	<p>ていければなと思っていて、まず来年度が終わってその後の事業のことなので、お金もかかりますしどうなるかは分かりませんが、ぜひ他校との交流というの少し考えて頭に入れておいていただければなと思うところでは。</p> <p>この事業は100パーセント嘉手納町の予算でやっている事業で、嘉手納町が来年終わるときに、また1サイクルやるかどうかという議論になると思うので、結果待ちという現状であります。</p>
委員	<p>もしまたということであれば、他校にも広げていっていただければなと思っています。</p> <p>もう1点。 鳥潟会館に245人来たということで、本当に広がっていいなと思っております。</p> <p>近隣の市外の自治体、あるいは弘前市辺りから来やすいと思うので、ぜひ情報発信をその辺まで広げていってくださればなと思います。</p>
歴史文化課課長	<p>さまざまな機会を捉えまして、今後も情報発信していきたいと考えております。</p>
教育長	<p>他にはございませんか。なければ、報告はこれにて終わらせていただきまして、議事に入ります。説明をお願いします。</p>
各課長	<p>(「議案第26号 令和6年度12月補正歳出予算要求の概要について」を資料により説明)</p>
教育長	<p>ご意見、ご質問等はありませんか。</p>
委員	<p>教育総務課にお伺いします。 「LED照明化工事実施設計業務」についてですが、体育館のHIDランプがLEDになるという理解でよろしいでしょうか。 そうだとすれば、教室はまだこれからということでしょうか</p>
教育総務課長	<p>体育館が急ぐということで、教室の方も合わせて考えております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。 続けて学校教育課にお願いです。 実は先ほど課長からお話いただいた給食の会議に私もPTAの代表として参加してしまして、本当に切迫した状況だそうです。来年度でも1人当たり60円上がらないと、給食としてはやっていけないということで、かといってこの物価高騰が来年になったら落ち着くかということもそういうことでもないのでは、これは皆さんで考えていかないと、学校の給食</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>が止まってしまうとかそういう事態に陥ってしまうと思うのです。</p> <p>なので、予算として取っていただくのはありがたいのですが、ここに来て保護者の負担増はさげられないとこにきているのかなと感じています。</p> <p>まずはここで、11月以降の事業費として補助金をいただけて上乗せしていただくのはありがたいのですが、来年度についても、何とか予算を取って、それから保護者負担をお願いしなければいけないとして、早めにその見通しがついてお話しすれば、そんなに反対が出るとかではないと思うので、そういうところのご配慮もお願いしたいと感じました。</p> <p>ご理解のあるご発言ありがとうございます。</p> <p>確かに、年度途中で給食費を上げるというのはさすがに厳しいということでの緊急措置です。</p> <p>すでに当初で30円補助していますが、いろいろな副食の食材価格が上がっていてそれで吸収されてしまっているほか、さらに11月の米の購入費が上がるといことで、栄養士の方々も厳しいという状況でした。</p> <p>実際に会議の中ではプラス30円程度必要だという結果になったことを踏まえ、12月補正予算要求としてプラス30円上乗せをするものとなっております。</p> <p>委員から先ほど指摘されたように、このまま補助ですべて賄えるとは到底思えませんので、適正な時期にもう一度学校給食運営委員会を開いて、今後の方針等もある程度説明できればなど考えております。</p> <p>その際は、よろしく願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>このことについて、他の委員の皆さまから何かご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>給食の問題は、前々から国会の方では無料化をどうのこうのと騒いでいたりもしているのですが、やはり各市町村それぞれの事情もありますし、先ほど委員も話されたように、自分の子どもの食費というのは親がやはり責任を持たなくてはいけないということもあります。</p> <p>確かに補助は非常にありがたいことなのですが、食事を子どもに与える親の立場からすれば、やはり理解していただきたいという気持ちです。</p> <p>30円といっても、積もり積もれば結構な金額になるかもしれませんが、やはり保護者の皆さんにご理解をいただいて、わかってくれるのではないかと思います。自分の子どもの食事ですから、食事まで人に頼るといことは、あまりにもということもあると私は思います。</p> <p>やはりその辺は、親御さんも理解してくれるのではないかなと思います。どうでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>実際に、保護者の皆さまが日々買われる食材は常に高騰しているので、</p>

<p>教育長</p>	<p>その辺は誠心誠意ちゃんと説明しながら、ご理解を求めてまいりたいと考えております。</p> <p>給食に関しては、物価が上がったからといって量を減らすとか、質を落とすというわけにはいかないですね。栄養価の問題もありますので、だからやむを得ないことだなと思います。無償化にしているところもありますが、無償化しているからといって給食費にかかる費用が変わらないわけではなくて、それだけ予算が膨らんでいくわけですよ、そういう市町村にとっては。</p> <p>家庭の負担にはならないかもしれないけれども、各自治体の負担には確実になるわけで、それによって、この状況の中ではやむを得ない選択だなというふうに私は考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>この状態で、親御さんの負担する給食費が上がらない方が不思議論ですよ、そのような意味では。不思議に思う親御さんの方が多いのかなという気がしています。</p> <p>これだけ燃料費が上がったり、食材が上がったりと全体的にこうなっているのに、なぜこんな価格でできるのだと思ったときに、どこかを落としていないのかというような疑義が生じない方が逆におかしいのかなという気もしてきます。ぜひここはしっかりと理解していただいて、例えばある意味受益者負担の意味からすると、そういうことをしっかりご説明させていただいて理解を得て経営をし、栄養をちゃんと子どもたちに与えていくという方向が真っ当な方向ではないのかなという気はしています。</p> <p>いろいろご難儀かけますが、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今は1食325円くらいですか。</p> <p>これまでも本当に頑張っていたと思うのですね。時々いただきますけど、あの金額でこれだけのものが出るかということに本当に驚いてばかりです。お米の値段が1.5倍ですか、上がったときだからこそ本当に保護者の方々にも理解していただけるのではないかなと思うので、頑張っているということとやむを得ないということを理解していただいて、やむなしかなと思っております。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、この協議については承認でよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、6のその他の報告、政策協議について説明願います。</p>
<p>教育次長</p>	<p>(「政策協議について」概要を説明)</p>
<p>各課長</p>	<p>(「政策協議について」資料により説明)</p>

教育長	ご意見等ございませんか。
委員	<p>天然記念物の保存と未来への継承、そして所管施設の修理状態の評価を目指すコミュニティの2点ご説明されたということで、ありがとうございます。</p> <p>大館の歴史ほど面白いところはないのかなと、私がかねがね思っています。</p> <p>北からずっと下ってくると、矢立峠があって矢立廃寺跡があって、低高度でも鉾山植物が見られる風穴があって、そして芝谷地があって、鳥潟会館。北だけでもこれだけあるのです。こういうルートを一筆書きできないのかなということをかねがね思っています。</p> <p>それを、例えばガイドさんがついてくれて話をしてくれたら、こんなに面白い町はないのだろうなと思っております。町の成り立ちにしても、この河岸段丘から盆地からの成り立ちの形成まで、過去のことからおもんぱかってみれば、この地域の産業や秋田犬がなぜここで生まれなければいけなかったのか、なぜここでこういう農業ができたのかというようなことを有機的にすべて結合して話ができると思うのです。</p> <p>そのようなトータルで観光資源、もちろん観光課とも関連はしますが、教育委員会と観光課が有機的な組織を作りながらやっていくということをするれば、まだまだこの集客力アップにつながるだろうし、町の収益にもつながっていくだろうし、今の時期、円安でインバウンドの人たちもこういうところを求めている、東京、京都、大阪はもう当たり前で、違うところを求めているのです。</p> <p>しかもここで食文化と一緒に組み合わせると、これほど面白い町はないと思っていますので、そのような取り組みを教育委員会から率先してするのも面白いのかなと、いつもそんなことを漠然と思っています。</p> <p>ぜひ魅力的な活動をしていただければ嬉しいなと思いますので、1つの提案としてよろしく願いできればと思っています。</p>
委員	<p>私も委員のお話に追加してなのですが、ガイドさんのお話をいただきました。</p> <p>うちの二女といろいろなとこに行くのですが、行ってその施設を自分でじっと見て学ぶのと、ガイドさんがいるのとでは全く学びが違うですね。</p> <p>青森県七戸町に貝塚の遺跡があって、そこに行ってみたいというので行ったのですが、小学校が廃校になったところの向かいにそれがあって、その日はたまたま平日だったので、その隣の倉庫小屋のところに行ったらQRコードが立っていて、そのQRコードからつないでメールを送って見たらすぐに返事がきました。即席だったのですが、スマートフォンをつないでオンラインでガイドしてくれるという取り組みをしてくださって、すごくありがたかったです。</p> <p>先々週マレーシアに行ってきて、仕事の合間にちょっとお寺を見学に</p>

	<p>行かないかと言われて行ったときも、ガイドさんを頼むこともできたのですが、そのときはアプリを僕のスマートフォンの中にインストールしてイヤホンをつないだら、さらにすごかったのが、ガイドさんがスマートフォンの向こうでしゃべっていることをマレー語から英語に翻訳して耳に聞こえてくるアプリがあって、すごいなと思いました。</p> <p>これは、多分日本とかそういう田舎でも使えることで、そういうところから委員がおっしゃったこの道は、確かに一般的にみんなに受けるかというところではないけれども、言葉を選ばずに言うとオタクみたいな人にはすごく楽しいことだと思うのです。</p> <p>そういう人も、マイノリティではあるけども世界中にはたくさんいると思います。そういう方々をターゲットにアピールをしていくと、何かまた面白いことが起きるのではないかなと感じました。よろしくお願いします。</p>
<p>歴史文化課課長</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>委員がおっしゃるとおりどこにでもマニアは必ずいるものだなというのを痛感しております。</p> <p>スマートフォンのアプリを使ったガイドは、全く存じ上げませんでした。大変参考になります。ありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど学校の統廃合のお話が出ましたが、ギリギリまで待つということで、本当に少なくなったからといってすぐに統合ということではなく、学校には地域の方々の思いとか願いがあって、簡単にはいかないだろうなと思います。そういった願いや思いを聞きながら丁寧に進めていかなければいけないなと思っています。</p> <p>先ほど矢立小学校の話が出たのですが、現在22名ということで、この先の数年間の推移もわかりましたら教えていただきたいです。</p>
<p>教育監</p>	<p>矢立小学校は、実は来年は少し増えます。</p> <p>ただ、10月1日現在の数字なのですが、現時点での児童生徒数の減少は、大館市全体で120人程度です。</p> <p>昨年度から今年度にかけては200人を超えていたのですが、ここ10年間の平均の減り方と同じぐらいという感じです。</p> <p>あともう一つ、今のままでいくと、複式の学校がもう一つ増えます。西館小学校に複式が1つ増える可能性があります。</p> <p>話は戻りますが、矢立小学校は今3複式なのですが、若干増えるので、来年は2複式にしました。</p>
<p>委員</p>	<p>その後はどうでしょうか。</p>
<p>教育監</p>	<p>矢立小学校は、向こう2～3年は20人台で推移しています。</p>

委員	<p>少ないからこそそのメリットもありますよね、きめ細やかに授業ができるという。</p> <p>でもやはりデメリットもあって、いろいろ考えていかなければいけないと思います。そういうデメリットの部分で、先ほど学校教育課で出された学校の壁を超えた学式スタイルの構築というのも考えられていると思うので、いずれは考えていかなければいけないと思いますが、その辺の見通しはどのようなものでしょうか。</p>
教育総務課長	<p>市長にも答えたとおり、「まだ」という一言に尽きるかと思うのですが、ハードの部分として、子どもさんたちの人数に対して、どうしてもかかり増し、修繕等に効率の悪いお金のかけ方をしているというのがあります、遠くない将来に考えなければという状況ですが、今の時点で具体的に統合するということまでにはなっておりません。</p>
教育長	<p>教育的にはですね、複式と言ってもいろいろなICT機器もあるし、大館の学び方自体が「自学力を育てる、学び力を育てる」ということをずっとやってきましたので、だから担任の先生がついていない時間も自分たちで学んでいけるという、そういう姿は複式の学校で今年も見られました。</p> <p>ということで、学力的なハンディになるということはないと思います。そちらはいいのですが、コミュニケーション能力といったところについては、それこそリモートで花岡小学校と矢立小学校と一緒に授業をしたりなど、そのような試みを進めていますので、そちらについてもかなりカバーはできるのかなという見通ししております。</p>
委員	<p>追加でよろしいでしょうか。</p> <p>先日、別の会議にでてきて、乳幼児健診会議でしたので、生まれる赤ちゃんの数がわかります。令和元年度から309人、そこを1年ごとに312人、324人、そして246人、231人、1学年が大館市でそれくらいということになってしまいますので、ここから5年間で子どもの数が少なくなるのがまた加速するのではないかと予想されます。</p> <p>現時点で統廃合というのは考えられないかもしれないのですが、やはり保護者として求めてしまうのが見通しですね。</p> <p>実は、私が学校歯科医として担当している小学校では当初4人の入学予定だったのですが、子どもをどうしても大きい学校に入れたいと言って、近隣の少し規模の大きな学校に直前で2名が入学するとなって、結果として2名の入学になってしまうという現象も起きていて、保護者が少人数教育に関してどれだけ理解を得ているかなというのは難しいところがあるなと感じました。</p> <p>なので、こういう状況について我々保護者も学んでいって、将来どういふふうな教育を受けられるのかというのをしっかり知っていく必要があるなと感じました。</p>

教育長	保護者の方々または地域の方々の意向も絡んでくる話なので、これからの大きな課題であることは間違いありません。 他にございませんか。
教育総務課長	(「来月の開催日程」について)
教育長	教育委員の皆さまから何かございませんか。 よろしいでしょうか。 それでは、以上を持ちまして、教育委員会会議を終了いたします。
	会議終了時刻 午後2時50分